

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
高崎市稲荷町20 電話(027)362-2585
発行責任者 齋藤 民
印刷所 ほその印刷

わたしたちの同窓生

〈103周年〉

会員数 29,543名

平成14年4月1日 現在



同窓会報

椎の樹



同窓会長 齋藤 民

ごあいさつ

高女同窓会員の皆様ご健勝
で平成14年をお迎えの事とお
喜び申し上げます。
昨年は21世紀の最初の年と
いう事で希望と夢と大きな期
待を持って迎えましたのに、
何ともいやな事ばかり多く全
世界を震撼させた米国の同時
多発テロには皆様もさぞお心
を痛めていらっしゃる事と存
じます。年末になり皇太子家
に内親王様ご誕生という朗報
でやっと救われた気持ちで平成
14年をむかえました。
また、昨年は群馬県が国民
文化祭の実施県でしたので県
をあげて一年中忙しい年でも
ありました。同窓生の皆様も
それぞれご関係のお立場でご
参加、ご活躍なすった方が沢
山いらした事と存じます。
同窓会も3月1日新入会員

を受け入れ一層充実した会に
なりました。母校開校記念日
5月1日総会では中島松男先
生の「東京文学散歩」という
大へん楽しい記念講演をおき
きました。6月16・17日の
母校推樹祭では工芸部の皆さ
んの作品を展示いたしました。
旅行は国民文化祭の関係で旅
行委員の皆様にご苦勞かけま
した。国民文化祭最終日を持っ
て11月18日(日)東京方面へ
一日旅行となりました。都立
庭園美術館の見学、呼び出し
三郎さんの相撲甚句、和歌山
富之助さんの長唄と日本情緒
の溢れた雰囲気を感じました。
最後にエビスガーデンを
自由見学して楽しい一日を終
りました。本年も当番幹事、
旅行委員、会報委員の皆さん
には大へんお世話様になりご

苦勞様でした。
さて本年はいよいよ同窓会
発会100周年になりました。明
治35年11月に発足です。そこ
で幹事の皆さんとご相談の結
果、旅行の時期とも近いので
100周年記念式典と旅行をドッ
キングさせて実施する事に決
定しました。日帰りの方の便
も考えて場所は水上温泉、日
時は11月10日(日)11日(月)
です。詳細は別冊幹事の方々
総会その他係がご案内しま
す。同窓会の100周年という嬉
しい会ですので、多数ご参加
下さいましてご協力くださ
います様お願い申し上げます。

祝 今年と同窓
会発足百周
年です。

皆さん集ってお祝
いしましょう。
式典・祝賀会…水上館
平成14年11月10日(日)

認められた
高女の心

校長 今井 優



齊藤民会長はじめ会員
の皆様には日ごろから母校の
ため、暖かいご支援を賜り感
謝申し上げます。
本校は103年目を
迎えますが、同窓
会は本年が100年目
とお聞きしております。
心より御祝
い申し上げます。
さて、学校では
昨年も生徒が、文
武両面において大
いに活躍してくれ
ました。
今回は、日常生
活のなかで、校訓
の明朗闊達・向学
叡智・品位清楚を
実践してくれた後輩の事を紹
介させていただきたいと思
います。ある日、こんなお手紙
を岩手県の方からいただきました。

「突然のお手紙で誠に失礼
とは存じますが御校の生徒さ
んの素晴らしい面に触れさせ
ていただきましたので一言お
知らせと筆を取ら
せていただきますし
た。京都の二条陣
屋というカラクリ
屋敷のこと、私
は予約を取り、早
めに着いて待つて
いました。ほどな
く4・5名の生徒
が入ってきました。
制服をきちんと
着、係の方との会
話、立ち振る舞い
に品位が感じられ
ました。そして待
合い場所となっている座敷に
私共が座っているところに座
布団を持ってきて「お使いに
なりませんか」と言ってお勧め
してくれました。私は心が温か

くなってきました。リュック
に付いている名札から御校の
生徒さんとわかりました。生
徒さんとの会話は少なかつた
のですが、生徒さんの人柄が
よくわかりました。その生徒
さんをおして御校の質の高
さ、学園の雰囲気などを垣間
見させてもらったように思
いました。清々しい気持ちにさせ
てもらいました。」
さて、現在学校では学校週
5日制、15年度から新教育課
程の実施と、教育の分水嶺と
もいえる大きな変化の時期を
迎えます。このとき、学校は
生徒にとって今、そして将来
何が必要で、何をなすべき
か、真剣に考えなければなら
ません。
教職員共々一致協力して、
この問題に取り組んでいきたく
と思っています。

同窓会総会

平成13年5月1日/母校椎樹館にて



高女創立記念日の5月1日、
平成13年度高女同窓会総会が
開催され、当日、約100名の同
窓生が母校の椎樹館に足を運
んでくださいました。
総会は、吉村副会長の開会
の言葉で始まり、齋藤同窓会
長の挨拶に続いて、今井校長
清水教育振興会長よりご祝辞
をいただきました。来賓紹介
の後、議事に移り、平成12年
度の事業報告、会計決算報告、
会計監査報告が行われ、続け
て平成13年度の事業計画案、
予算案が報告され承認されま
した。その他として、吉村副
会長から、6月の椎樹祭に行
われる同窓会工芸展に参加協
力をというお話がありました。ま
た、新年会の折に、三宅島

住民で現在避難生活を送って
いる同窓生のために募金がか
けられました。また、その結
果報告とお礼が高5期の和田
さんからありました。中野旅
行委員長から同窓会旅行の内
容説明とお誘い、林会長から
は京浜地区同窓会への参加呼
びかけ、さらに校内理事に就
いた高36期の大槻恭子さんの
紹介と挨拶がありました。
校歌の美しいハーモニーの
余韻の中で、吉野副会長の言
葉をもって約1時間の総会が
無事に閉会いたしました。
この日のために、会場とな
る和室のすべての障子が張り
替えられ、大変清々しいなか
で、和やかに行われた総会で
した。

新年会

安中 澄子(高25回)

平成14年2月3日(日)同
窓会百周年の新年会が、20余
名の同窓生の参加を得て、高
崎ビューホテルにて盛大に行
われました。
齋藤民会長の御挨拶、今井
校長・小野教頭のご祝辞、荻
原事務長の乾杯で祝宴が始ま
りました。

おいしい食事と談笑の中、
住吉和子さん(高25)ソプラ
ノ独唱、薩摩おごじよの藤木
明美さんピアノ伴奏で、「む
こうむこう・松島音頭・さ
うきび畑・いとしいお父様」
の4曲が熱唱されました。特
に「さとうきび畑」は心に浸
透し、涙する同窓生が少なく
ありませんでした。

続いて高女同窓会合唱団が
「六つの子守歌」から3曲、
指揮小川久美子さん(高18)
伴奏指方容子さん(高20)で
美しいハーモニーを披露して

くれました。
そして事務局からのお知らせ
の後、今秋行われる同窓会
100周年旅行のお誘いの連絡が
ありました。
高25回から高26回への当番
引継ぎでは、新役員の頼もしい
御挨拶がありました。
最後に齋藤民会長の指揮で
「校歌」を全員合唱しました。
改めて歌詞のすばらしさをか
みしめ、三部合唱の響きの美
しさに酔いしれるひとときで
した。



同窓会入会式

入会のことば
冷たさを残す空
気の中にも、どこ
となく春の息吹を
感じられるこの良
き日に、私達三百
十八名は、先程無
事に卒業式を終え
ることができまし
た。

私達が人生を歩んでゆく上
で、彼らの存在が大きな支え
になってくれることでしょう。
今、私達は百周年を迎える
同窓会の入会式に臨み、高女
の長い伝統の一端を担い、受
け継いでゆくことに対する責
任と誇らしさを、強く感じて
います。諸先輩方を見習い、
高女同窓会会員としての自覚
を常に持ちつつ、この伝統を
守り、受け継ぎ、更に発展さ
せてゆくために、私達も精一
杯の努力を尽くしてゆく覚悟
です。

思い返してみ
ると、高女創立百周年という記
念すべき年に私達は入学し、
早々に高女の伝統の素晴らし
さに触れることになりました。
そのことによって常に高女の
学生であることに誇りを持ち
つつ、三年間を過ごすことが
できましたように思います。
また素晴らしい師や友人を得
たことは高女生活における最
も大きな収穫であり、これか

まだまだ未熟な私達ではあ
りますが、先輩方の変わらぬ
ご指導をお願い申し上げます
ご、入会のことばとさせていただきます。
平成十四年三月一日
新入会員代表
五十嵐尚子

同窓会 総会開催の お知らせ



平成14年度行事予定

5/1(水)	総会 百周年行事旅行申込日
9/2(月)	百周年行事 参加費用受付日
11/10(日)	同窓会百周年・式典 アトラクション及び 祝賀会(水上温泉)
11/11(月)	旅行
2/9(日)	新年会 高崎ビューホテル
2/	推薦委員会
3/3(月)	高校55回入会式
4/1(水)	会報17号発行

春陽の候、同窓の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。

さて、恒例の総会を下記により開催いたします。

お誘い合わせて、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

記

日時 5月1日(水) 14時～
場所 母校 権樹館・和室
講演 「高女創立の頃」
講師 山口 聡先生

母校の近況

●講師公募のお知らせ

平成14年度より、週5日制がスタートしました。第1・3・5土曜の活用として、学習指導や講演等を行ってみたい方は下記へ連絡をお願いします。
〒370-0062高崎市稲荷町20
群馬県立高崎女子高等学校
進路指導部 土曜活用係(平方)
TEL.027-362-2585

●卒業生 318名。
進路状況：4年制大学等に88.7%の生徒が合格。
国立大101名、公立大25名、私立大519名。(延べ数)

●教職員人事異動

- ◇退職された先生
教頭 小野 博文 先生
◇転出された先生(敬称略)
国語 武井 敏男(高崎通信制教頭)
国語 宮崎 弘一(前東)
数学 武井 正正(前橋)
体育 武井 純子(安中)
保健 武井 勝也(前七中)
事務 武井 芳美(伊工)
司書 桑原 芳美(敬称略)
◇転入された先生(敬称略)
教頭 長尾 悦治(榛名定)
国語 荒井 充昭(高北)
数学 大富 忍明(館女)
体育 安西 紀昭(磐戸中)
事務 上野 正富(高北)

●なつかしい母校の、同窓会報をお送りいただき、ありがたうございます。

●草加市 中山君子(女48回)
●高崎市 羽鳥一枝(女46回)
●先月、末広町のなつかしい母校、今の文化会館で実家の息子のピアノ独奏会に招待され、行ってまいりました。昔ながらの太木は変わっていませんでしたが、周りの様子がすっかり変わってしまっていました。

●事務局長の皆様、いつもお世話様でございます。年一回の「権の樹」を拝見しながら、故郷のことを想うのが、その時間がとても楽しみです。
仙台市 池田祥江(高30回)

- ※会議 (1) 常任幹事会 (2) 期別幹事役員会 (3) 旅行企画委員会 (4) 会報編集委員会 (5) 合唱団運営委員会 (6) その他

※同窓会百周年のお知らせ
明治35年11月2日に第1回の会が会員28名、職員約10名で開かれたと記録にあり、今年で悠々百周年となります。
詳しくは右記旅行の欄を参照。

※同窓会維持費は同封の振込用紙にて納入をお願い申し上げます。その際卒業回期の明記を、卒業回期は宛名ラベルに書いてあります。

※第51回京浜同窓会のお知らせ
平成14年7月14日(日)12:00～
お台場 ホテル日航東京
代表幹事 高27回 増田奈保美
☎0424-58-0442

●群馬県高等女学校発祥の地の石碑が、あまりに小さく、気にしておりますが、立派な石碑を作りたいので、誠に嬉しく存じました。有り難うございました。

●御発展を、心からおよろこび申し上げます。一ヶ月程前に、句集「ミモザ」をお送りいたしました。図書室の隅にでも、おいて頂けたら嬉しく思います。

●港区 松本利恵子(高4回)
●戦後の高女卒で、両親を戦争で亡くして行けなかった大学ですが、現在、共栄短大にて、介護福祉士になる為、学んでいます。末広町の懐かしい石碑完成、おめでとうございました。

●足立区 神美智子(高7回)
●この季節「権の樹」を戴く度、ああ、この一年も元気で過ごせたと思ひ、うれしく拝見して見たいです。
四街道市 田島敏子(高10回)
●同窓会報ありがとうございます。民先生の、お元氣そうな様子、なつかしく拝見しました。宮城県柴田郡 齊藤久美子(高13回)



「自分の芸術性を追求する」とともに、音楽を地域に普及する。受賞式は平成13年12月7日上毛ホールで行われました。

拝啓 桜の蕾がぼつりぼつりと開き色とりどりの花々が一勢に咲きそう心華やぐ季節となりました。同窓会長様をはじめ皆様におかれましてはお元気で過ごしていらっしやいますか。この度は三宅島噴火災害を受けた一會員の私のために心温まるお見舞いと励ましのお手紙をお送り頂きまして誠に有り難う存じます。母校を巣立って38年という歳月が流れ、同窓会員とは名ばかりの私には思ひも及ばぬお見舞いに胸が詰まる思い一杯でございます。と共に、遠い昔の故郷・母校・校庭の

藤棚・先生方・同級生・先輩方が懐かしく想い出されます。重ねて沢山の御厚意を頂いた会の皆様に心から感謝申し上げます。今も三宅島は絶えず噴煙をあげ、火山性ガスを大量に流出していますから帰島できる日は相当先になると覚悟はしておりますが、老いた母と島育ちの主人のためにも一日も早くその日が来るよう願っております。ただこちらへ避難して来る時は一、二ヶ月で帰れるつもりでリュック一個で来てしまいいろく冬を過ごしましたが一日一日と暖かくなり気持ちも楽になっ

て来ました。皆様のご厚意を大切に元気の源とさせていただきます。本当にありがとうございました。会長様はじめ皆様のご健勝を心よりお祈り致します。
浅沼 澄枝(高14回)

●北から南から
●末広町の母校なつかしく、老後を何とか生きつづけて、「朝夕窓に」の校歌を、時々口ずさんでいます。
●群馬県高等女学校発祥の地の石碑が、あまりに小さく、気にしておりますが、立派な石碑を作りたいので、誠に嬉しく存じました。有り難うございました。

●虹写真展を終わって
「五回迄は頑張りましょう」を合言葉に四季折々の自然を撮りました。皆様のご厚意を大切に元気の源とさせていただきます。本当にありがとうございました。会長様はじめ皆様のご健勝を心よりお祈り致します。
植松(高19回)

●どんぐりに会って初参加
高女の卒業生でゴルフの同好会がある、との事を聞き、友人をさそって入会しました。始めは、何となく気が使いたくなつて居りましたが、皆、同窓生との気楽さで、上級生下級生もなく、楽しく一日を過ごしました。創立百周年感慨無量でございます。母校のますますの御発展を、祈念しております。

この賞は地域の文化・生活・産業などの分野で貢献のあった人や団体に贈られるものです。各県から一件が選ばれるもので、平成14年2月25日東京のNHK放送センターで受賞式が行なわれました。

受賞作『遠い記憶』は、幼い頃からの記憶をたどりながら、これ迄の生涯を振り返られた自分史ですが、今迄封印しつづけた、戦争のために犠牲になられた父親への想い、家を守り続けた母親への尊敬に溢れた心ゆさぶられる作品です。

受賞式は平成13年12月7日上毛ホールで行われました。

「虹」写真展を終わって
「五回迄は頑張りましょう」を合言葉に四季折々の自然を撮りました。皆様のご厚意を大切に元気の源とさせていただきます。本当にありがとうございました。会長様はじめ皆様のご健勝を心よりお祈り致します。
植松(高19回)

●同好会活動
マンドリンOG会
アンサンブル
現役生への応援、会員相互の親睦を図り、OG自らも音楽活動に参加し、人生をより豊かなものにするという趣旨で会が発足し、今年で早や十六年目を迎えます。権ノ樹マンドリンアンサンブルは去年赤城高原ホスピタルへ慰問演奏、高崎市母子等保健推進委員会創立二十周年記念式典のアトラクションその他数ヶ所での出演演奏、又十二月には第一回演奏会を開催することができました。これも一重に同窓生の暖かいご支援ご協力の賜と心より感謝しております。どうぞ興味のある方は楽器を持ってお集まり下さい。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

受賞
おめでとうございます
ごぞいませ
NHK関東甲信越
地域放送文化賞
斎藤 民さん(女26回)
(同窓会長)

「受賞作『遠い記憶』は、幼い頃からの記憶をたどりながら、これ迄の生涯を振り返られた自分史ですが、今迄封印しつづけた、戦争のために犠牲になられた父親への想い、家を守り続けた母親への尊敬に溢れた心ゆさぶられる作品です。」

同窓会百周年記念行事及び親睦旅行のお知らせ
今年度は百周年行事とセットになっております。奮ってご参加ください。

先行：水上方面
期日：11月10日(日)高崎駅東口10時50集合
式典、アトラクション、祝賀会(水上館)
11日(月)・きりえ美術館散策、吉祥寺(精進料理)、田園プラザ川場、高崎駅東口 17:00
申込：5月1日 総会時 母校権樹館
参加費：宿泊20,000円/日帰り15,000円
費用払込：9月2日(月) 9:00～15:00
母校権樹館
問い合わせ：高26 広瀬節子 027-343-9810
吉村道子 027-326-8822

同好会活動
マンドリンOG会
アンサンブル
現役生への応援、会員相互の親睦を図り、OG自らも音楽活動に参加し、人生をより豊かなものにするという趣旨で会が発足し、今年で早や十六年目を迎えます。権ノ樹マンドリンアンサンブルは去年赤城高原ホスピタルへ慰問演奏、高崎市母子等保健推進委員会創立二十周年記念式典のアトラクションその他数ヶ所での出演演奏、又十二月には第一回演奏会を開催することができました。これも一重に同窓生の暖かいご支援ご協力の賜と心より感謝しております。どうぞ興味のある方は楽器を持ってお集まり下さい。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

●楽しいですよ。合唱！
私達高女同窓会合唱団は、毎月第二日曜日、権樹館和室をお借りして練習に励んでおります。主な活動は、高崎市の市民音楽の集いと同窓会新年会に出演することです。今年には水上での百周年アトラクションに参加する予定です。合唱の好きな方、月に一度高女に通い、思い出に浸りながら合唱を楽しみませんか。お待ちしております。

「戦」の字で送られた新世紀初年は、米中核同時テロに世界は農かんとなり、厳しい経済情勢の依然続く中、痛ましい池田小学校児童殺傷、えびす丸沈没等国内外戸惑う出来事がたくさんありました。十二月には敬宮愛子内親王様ご誕生との慶事があり、日々の暮らしにもささやかと表現されるのかもしれないけれど、やさしい言葉や思いやり、心の通い合いも数々ありました。感謝と共に平和のありがたさをしみじみと思っております。今年も同窓会百周年にあたり、同窓生、母校へ心を馳せ、記念行事につどえることを願っております。
第16号編集委員会
編集委員長 吉野烈子(高9回)
同窓会長 斎藤民(女26) 副会長 角田智恵子(女39) 吉村晴子(高5) 吉野烈子(高9) 編集委員 笹本幸子(女44) 吉村節子(女46) 金井幸子(高3) 岡田俊子(高4) 善如寺尚子(高17) 設楽多恵子(高18) 武井治子(高19) 綱島千栄子(高19) 齊藤信子(高20) 丸山ひろ(高21) 田中和子(高22) 福田和子(高23) 宮尾志津子(高24) 林いずみ(高25) 井上ちは(高25) 瀧川澄子(高26) 事務局 桑原芳美(高16) 堀口まち子(高19)

親睦旅行 窓会だより 東京ときめきの旅



瀧川 澄子(高26期)

立冬も過ぎた11月18日、45名の参加で「古典への誘いとエンジョイ未来都市の旅」に行きつきました。和やかな雰囲気の中、バスは、まず、東京都庭園美術館へ向かいました。

この美術館は、朝香宮邸(アール・デコ様式)をそのまま美術館として公開したもので、外装は勿論、ガラス扉や飾り柱などの内装も華麗で、気品漂う素晴らしいものでした。

館内では、「カラバッジョ光と影の巨匠」パロック絵画の先駆者展」展が開催されていきました。波瀾に富んだ人生を歩んだ彼の作品6点は、どれも優れた写実性と明暗法を用い、作者の様々な思いも塗り込められ、思わず息を呑む程の臨場感がありました。カラバッジョの影響を受けた画家達の作品30点も紹介されており、ほの暗い美術館の中は、入館者が絶えることはありませんでした。

つづいて、「銀座天国」にて公演がありました。初めは粋な着物に裁つ着け袴姿の元

一昨年掲載された「母校の思い出」という、高女の歴史に関する13回連載記事の写しを配りました。

京浜同窓会

新世紀初の高女京浜同窓会は記念すべき第50回の会となりました。会場は、早くも集まる同窓生の、旧交を暖める声と熱気でいっぱいです。

林和江京浜会長が語る50回に至る道のりと将来に向けての展望、斎藤民同窓会長からのご祝辞、学校長からは現在の高女の大きな発展のご報告、教頭のユーモアに富んだご祝辞と乾杯の音頭でなごやかに祝宴が始まりました。

宴たけなわの頃、高女時代の思い出を先輩方に披露していただき、加えて上毛新聞に

呼出し三郎さんによる相撲四方山話でした。相撲子の紹介、相撲甚句、呼び上げ、拍子木の実演、呼出しの苦勞話などを伺い、大相撲の伝統が、多くの人々によって脈々と受け継がれている様子が垣間見られました。三郎さんより、お土産に番付表と元結をいただきました。

次は、和歌山富之助さんの長唄「狸」でした。三味線、鳴物の方も加わり、擬音効果満点で、古典音楽の調和のとれた美しい響きを堪能しました。昼食は、ゲストの方々とは別荘で、和気あたたかい中で、いただきました。

有名店が軒を連ねる銀座の通りを車窓から眺めながら、未来都市恵比寿ガーデンプレイスへ。「見・食・遊」すべて揃った多彩な施設を自由に散策して、夕陽が迫る頃、帰途に着きました。

今日一日、心をときめかせて皆様と楽しく過ごすことができました。幹事の方々には深く感謝申し上げます。

昭和2年3月卒業。百四十九名、初めてのクラス会は、終戦後の昭和21年4月、豊島・佐藤両先生をお招きし子供を連れての会でした。その後何回か会を持ち「むらさき会」として定期的にクラス会を開催するようになったのは、昭和50年と記憶します。幹事は高崎在住の方がなり年費費五百円とし(後に千円)、お見舞、香典、通信費等に運用し記録も残るようになりました。

52年には五十周年記念の一泊クラス会を開き三十名の出席がありました。

53年に消息を尋ねて名簿が

て熱田丸で帰朝するまでを綴ったものである。著者は「心的作業及び疲労の研究」なる論文によってドクトル・オブ・フィロソフィーの最高学位を取得。当時の事情を考慮すれば驚くべき記録である。本書中には、当時のアメリカが女性参政権運動の高まる中で、婦人運動の発展・産業制度の変革の結果、女性教育

期別同窓会

むらさき会

石井 幸枝(女26回)

昭和21年4月 魚仲にて

風薫る5月16日、高5回の同窓会を、ホテルメトロポリタン高崎で90名の参加者で開催しました。今回は当時お世話になった全員の先生をご招待したところ、今井、岩淵、久保田、小林、橋爪、森平、山岸、和田の各先生8名のご出席を頂きました。ことに、岩淵先生には遠く仙台からのご参加で、一同大感激でした。

小林康男先生に乾杯のご挨拶を頂いたあと、(私達はともやんちゃな生徒だったようです!)吉村同窓会副会長から母校の近況を話してもらいました。先生お一人ずつのお話はインタビュー形式でもお話をいただきました。各先生方のお話も

懐かし、50年近くの年月が一気に縮まって、教師と生徒のなごやかな会になりました。アトラクションも、幹事有志がトークショー、民謡、日本舞踊を披露し、好評でした。次の一泊旅行の予定を約し、お互いの健康を祈りつつ散会となりました。

浅井マキ子(高11回)

新世紀記念 同窓会に参加!

高11回生全員が還暦を迎えた昨年6月、泊まりでの初めての同窓会が催されました。

高崎駅東口で迎えるバスを待つ時から気分は高揚。

卒業以来の友とも二言三言交わす間には高校時代にタイムスリップし、華やきを乗せて倉淵村のはまゆう山荘へ向かいました。

百名ピタリの参加者で夜の宴会場は満員御礼?幹事さんの奮闘で男声コーラス、小林御夫妻のダンス、お琴、踊り、歌と多彩です。男性にアソビをしてみました。大合唱と歌を歌って下さり、大合唱となりました。(実は私も恋心者を歌ったんです。)友の芸達者に驚き、会話を弾んだ至福の時はあっという間に過ぎ去って...

翌日は新市庁舎を案内していただき、展望階より故郷を

眺め往時を偲びました。同窓会は元気の源。私はこれからも「あくせく自適」の日々を懸命に生きていこうと思っています。

岡田 敦子(高23回)

安中 啓子(高28期)

高28回生の同窓会を平成14年1月5日一時より、ホテルメトロポリタン高崎にて開催いたしました。恩師十三名様をお迎えし、同窓生一六五名で、楽しく新年を祝いつつ、旧交を温めることができました。皆様にも、感謝をもって御報告申し上げます。

原口 鶴子(高20回)

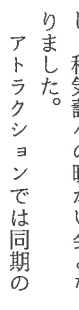
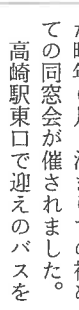
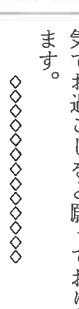
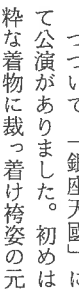
原口 鶴子 1886~1915

「楽しい思い出」を讀んで

日本における女性心理学者の先駆者である著者原口鶴子(旧姓新井・女1回)女史は、日本女子大を卒業後、アメリカのコロンビア大学に留学し、致政心理学を専攻した。この本は彼女が一九〇七年渡米し、5年後卒業と同時に原口氏と結婚し、イギリスに新婚旅行、ドイツに留学する夫君と別れ

作成され、連絡がスムーズになりました。残念ながら既に他界された方四十六名、住所不明の方が十六名居られました。皆様の希望でクラス会が二泊となり楽しい会となりました。

平成12年6月 ゆうすげ



「東京文学散歩」を聞いて 友と歩く

榊原 祥子
(高25回)

2001年度総会記念公演

5月1日総会に続き、「東京文学散歩」と題して、中島松男先生の講演会が、開かれました。

中島先生は、高女で国語教師として教壇に立たれ、お教えを受けられた方々も多いと思います。教員時代より、国語の授業に出てくる近代文学の作者の出身地を調べたり、小説の舞台となった場所を散策されたりしたそうです。そして、これを30年にも亘って続けてこられました。今回は、その数あるコースの中から、約2時間程でまわれ、比較的、名所・旧跡の多いものを選んでお話をいただきました。

お話を内容は、お茶の水駅をスタートし、湯島聖堂、神田明神、妻恋稲荷、湯島天神、菊坂を通って、東大赤門、無縁坂から上野駅へ出るまでの名所・旧跡と、それにまつわるエピソードでした。会場内は終始和やかな雰囲気の中に包まれており、湯島聖堂の孔子・孟子の像、神田明神の銭形平次の碑、三四郎の池などのエピソードや、その中にボンボンと飛び出す裏話に、笑いと大きな拍手が絶えませんでした。

た。先生の知識の多さ、深さに感嘆し、また、現在も活躍されていることに、敬服いたしました。

平成13年度総会の講演で、高女の元国語教師、中島松男先生の「東京文学散歩」をお聞きしました。

金井晶子(高3回) 平成13年度総会の講演で、高女の元国語教師、中島松男先生の「東京文学散歩」をお聞きしました。

湯島天神をお参りし、「鏡花筆塚」や「奇縁水入石」の迷子石も興味深く眺めました。春日局の墓がある麟祥院は別名釈迦寺(からたちでら)といわれて、境内の道ぞいには、山茶花が咲きこぼれていました。

一葉旧居跡は、せまい露路の奥にひっそりと井戸を残して建っています。薄幸の明治女性が生きた生活を偲び、いよいよ東大へ。赤門をくぐり、安田講堂の前を過ぎると、紅葉の中に三四郎池がありました。落葉散る池を眺めていると、団扇を手にした美弥子が佇むような錯覚にとらわれるのです。

名作を読み返したくもなかった二時間余りの「東京文学散歩」でした。

美しいということとは

Teacher



武井 昭二郎

「私のもとの同僚は上野の美

術学校洋画科を出たが、絵を全く描こうとしません。貴兄は複素変数論を専攻して絵の方でも成功されている。絵にはそういう不思議さがあるのですね」

これは、大学が同期で、高

校の数学の教師をしていた同僚からの、賀状の一部であります。もう一つ、これも私と前橋工業の時の同期で、今は弁護士。昨年12月15日の上毛新聞に掲載された私の記事を見て、電話で、「水墨画と因数分解の関連性を解く人は未だかつていないんじゃないかな、非常にユニークで面白かったよ……」とメールを送って来ました。

この事は大変反響を呼んだと見えてその他色々の方から電話が来まして一時は応対に手こずった程でありました。

一般的に、数学は芸術から大変遠い所にあると考えられているようですが、私はそうは考えていません。それというの、一般的には数学が単に計算の道具に過ぎないと考えられているからです。

芸文欄

慰問文 黒石けさ子(女44回) 校庭の隅で 白いこてまりが雨に打たれています Tさんお元気でですか いま国語の時間です 級全員が 戦地の兵隊さんのご苦勞に感謝して 慰問文を書いていきます……

美人かブスカ と尋ねられ ブスであります と直立不動で叫んだとか そう言わないと大変なんだよ ごめんね とTさんは言った Tさんも私も無限の可能性があるように 思えたあの頃

白い雲のように流れていった昔のこと Tさんの通夜告別式に出かけ 大勢の従姉妹と語り合ったが 慰問文のことは内緒だ

そして あのあとに何を書いたっけと しきりに思い出そうとしていた 年上の従兄弟に ひそかに 憧れをもっていた女学生の私



この時私は 中支に出征していた従兄弟宛に書いた 無事帰還したTさんは この慰問文を話題にした

殆どが検閲を受けてから個人に渡される 若い女性からのものは 隊列の一步前に出て大きな声で読まされ

た。高女第16回椎樹祭は、6月16日(土) 17日(日) 盛大に開催され、今回同窓会は工芸展で参加しました。

日頃丹精したとりどりの作品が、椎樹館大広間に展示されました。工芸は分野も多く、陶芸、漆芸、鎌倉彫、染色、織物、刺繍、人形、押し花、ちぎり絵、モザイク、ステンドグラス、アートフラワー、手工芸とひろがり、女28回の村岡シズさん、高36回の渋谷里峰さんまで、年

代をこえて、57名の同窓生が出品いたしました。高25回の当番期の同窓生がわざわざ張り替えた真白い障子を通しての柔らかな日差しを受けて、ゆったりとした空間で、夫々の作品が互いに引き立て合っているようでした。一つ一つの作品を拝見するのは楽しくて、同窓生はもとより在校生や家族の方々一般の皆様方もゆっくり鑑賞されました。

毎回各分野で椎樹祭に参加することは、学校と同窓生を結ぶよい絆として、成功していると思えます。

椎樹祭参加 工芸展



第18回 日中水墨画合同展「数島雪嶺」

ゆかり 高女四代 時代とともに

杉浦(福島)百合子(女38回) 海老原(杉浦)洋子(高14回) 笹島(海老原)ゆう子(高37回) 海老原えい子(高39回) 宮本(海老原)みえ子(高41回) 海老原洋子



私達と高女の関係は、祖母杉浦(木谷)いく(女14)に始まります。早逝したため写真でしか知りませんでした。松樹館新築の折、古い卒業生の作品の中に、偶然祖母の風景画を見つめました。初めて祖母の生きていた証しに触れ大変なつかしく感動いたしました。

母杉浦(福島)百合子(女38)の時代は太平洋戦争直前の厳しい頃で髪形まで長さに応じて決まっていたそうです。それでもまだ余裕もあって、放課後テニスで汗を流したり、こっそり映画を見に行ったりと楽しい学校生活をすごしたようです。

私が高3の時には、母校創立60周年を迎え多彩な行事がありました。なかでも呼び物はクラス対抗の仮装行列でした。田寅彦は典型とも言えます。過日、テレビで心臓の外科手術の生々しいドキュメント場面を見ましたが、そこでの只管患者の尊い生命を救おうという信念に結集されたスタッフ連の手さばきといおうか、メスその他を手渡して行くそのリレーの作業は、とにかく美しいの一語につきました。

そこには、寸分の隙をも許さない張りつめた極度のパランスの造型美が生まれていました。これこそが芸術だと考えました。

※平成13年11月17日に水墨画「霊峰松嶺」で文部科学大臣賞を受賞した。